

八ヶ岳中信高原国定公園（美ヶ原地域）管理運営計画の改正（案）について

1 美ヶ原地域の概況

八ヶ岳中信高原国定公園の美ヶ原地域は、長野県の中部に位置し、東側は長和町、西側は松本市、北側は上田市に接しています。

本地域は八ヶ岳中信高原国定公園の最北部に位置し、主峰王ヶ頭(2,034m)を中心に、北に武石峰、南に茶臼山、東に物見石山、西に王ヶ鼻のいずれも 2,000m 近いほぼ平坦な台地状地形をなし、標高 2,000m 級の亜高山帯の高原台地としては日本一の広さがあります。この台地の大草原には 300 種を超える高原・高山植物が咲き競い、遠く富士山をはじめ、北アルプス、中央アルプス、南アルプス、八ヶ岳の雄大な 360 度のパノラマが壮麗な景観を展開します。

また、美ヶ原は古くから放牧や採草が行われ、現在も大部分が放牧地として利用されており、壮大な草原景観が広がっています。

2 美ヶ原地域の管理運営計画

美ヶ原地域の保護及び利用、また、当地域の目指すべきビジョン・将来像を定めるため、令和 2 年に管理運営計画が策定されました。

3 美ヶ原地域におけるペット問題

美ヶ原地域に限らず、長野県では国定公園等の自然公園内へのペットの持ち込みについて、他の公園利用者や自然環境への配慮から自粛及びマナー遵守のお願いをしています。単にペット（愛玩動物）としてではなく、コンパニオンアニマル（伴侶動物）として犬等を同伴する公園利用者もおられます。

そこで、現行の管理運営計画ではペットの持ち込みについて、「利用者は必ずリードで繋ぎ、リードは短めに、常に離さないで歩くようにするとともに、ペットの糞尿は放置しないよう徹底します」と定めております。

しかしながら、牧場エリアに連れ込んだペットに驚いた牛が柵を越えて歩道に進入したり、糞尿の不始末が散見されるなど、公園利用者の安全を害する恐れのある事案や牧場の衛生管理上問題となる事案が現に発生しています。

4 今後の方針

美ヶ原牧場で飼育している牛は産業動物であり、畜産農家が飼育している財産です。家畜の防疫・衛生管理及び公園利用者の安全確保の観点から、利用者による牧場エリアへの補助犬を除くペットの持ち込みは禁止することとし、それ以外のエリアでは引き続き必ずリードを短く繋ぎ、糞尿を放置しないなどのマナー遵守を徹底すること、としたいと考えております。

ついでに、管理運営計画のペットの持ち込みに係る規定を改正することとしたいと考えております。

八ヶ岳中信高原国定公園（美ヶ原地域）管理運営計画書 新旧対照表

改 正 案	現 行
V 適正な国定公園利用の推進に関する事項 （中略） 3 その他 （1）ペットの持ち込み <u>ペットが牧場の牛に近づいたり、ペットが吠えたりすることで牛が驚き興奮し、脱柵することがあります。脱柵した牛が歩道内に進入することで公園利用者との接触事故を誘発するおそれがあります。</u> ペットの臭いや鳴き声によって野生動物の繁殖を妨げる場合がありますとともに、糞尿の放置による未知の細菌等による野生動植物等への影響が懸念されます。 また、登山者の往来が頻繁な場所や登山道が狭い場合では、ペットを避けるために登山道からはずれてしまうこともあり、貴重な高山植物を踏み荒らしてしまう危険性もあります。 さらに、ペットを放つと、野生動物や牧場の牛を追い回したり、野生植物を踏み荒らす可能性もあります。 そこで、<u>牧場エリアでは補助犬を除くペットの持ち込み（ケージでの持ち込みを含む）を禁止することとし、それ以外のエリアでは必ずリードなどで繋ぎ、リードは短めに、常に離さないで歩くようにするとともに、ペットの糞尿は放置しないよう徹底します。</u>	V 適正な国定公園利用の推進に関する事項 （中略） 3 その他 （1）ペットの持ち込み ペットの臭いや鳴き声によって野生動物の繁殖を妨げる<u>場合や牧場の牛を怯えさせる</u>場合があるとともに、糞尿の放置による未知の細菌等による野生動植物等への影響が懸念されます。 また、登山者の往来が頻繁な場所や登山道が狭い場合では、ペットを避けるために登山道からはずれてしまうこともあり、貴重な高山植物を踏み荒らしてしまう危険性もあります。 さらに、ペットを放つと、野生動物や牧場の牛を追い回したり、野生植物を踏み荒らす可能性もあります。 そこで、利用者は必ずリードなどで繋ぎ、リードは短めに、常に離さないで歩くようにするとともに、ペットの糞尿は放置しないよう徹底します。

至 思い出の丘

ペットの持ち込み禁止 適用範囲（牧場エリア）

至 上田市街

至 松本市街

至 和田宿

↓ 至 扉峠



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 7JHf 164
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。